



こんにちは

村田 けい子

2016.212
No.39

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

安倍首相の改憲発言に抗議 九条の会が緊急会見 —戦争への道 ふさごう—

(しんぶん赤旗2月9日付け)

「九条の会」は8日、安倍晋三首相が戦力不保持を規定した憲法9条2項の明文改憲を公然と表明していることに對し、緊急記者会見を国会内で開き、「安倍首相の九条明文改憲発言に抗議する」アピールを發表しました。

小森陽一事務局長がアピール文を読み上げ、安倍首相が「7割の憲法学者が自衛隊に憲法違反の疑いをもっている状況をなくす」として、9条2項改定＝「国防軍」創設の考えを示していることについて「逆立ちした我田引水（がでんいんすい）の理屈」だと批判。戦争法強行による立憲主義破壊に加え、安倍首相が9条明文改憲や「緊急事態条項」創設を繰り返すことに対して、「自らの憲法尊重擁護義務を全くわきまえない」ものだと断固抗議しました。9条改憲を公言した第1次安倍政権を退陣に追い込んだ世論の高揚を再現し、戦争法を廃止させ9条を守り抜こうと呼びかけました。

呼びかけ人で作家の澤地久枝さんは9条2項改定について、「今まで一人の戦死者を出さず、他国の人を一人も殺してこなかった歴史が終わり、私たちが絶対にやらないと70年余前に誓った戦争がよみがえってくることです」と批判。「いま命がけで反対し、戦争に行く道をはっきりとふさがなければならない」と訴えました。

事務局員の渡辺治・一橋大学名誉教授が発言し、「戦争法を強行したが、実際に自衛隊を海外に出動させる場合、憲法9条、憲法全体は死んでおらず、(戦争法の)障害物になることが、改めて政府と安倍首相の中で確認された。安倍首相は、焦りといら立ちから明文改憲を打ち出し、(9条という)極めて大きなとりでを壊そうとしている」と述べました。



記者会見する九条の会の澤地久枝氏（右から2人目）ら＝8日、参院議員会館

いよいよ首相の本音が明らかになりました。9条2項（前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。）を無くし、自衛隊を国防軍にしてアメリカとともに戦争ができる「普通の国」にしたいという首相の本音があからさまに示されています。また国会論戦の中で、特定秘密にかかわる予算の使い方については会計検査院の検査を受けないとしていることは重大です。つまり何にどれだけ何のために使われたかは一切秘密となります。

これでは全く国会のチェックは聞かないこととなります。軍事国家への道は何としても止めさせないと。

♪立科町合唱祭 盛大に ♪



小学生の合唱、東御市の男声合唱、混声合唱など多彩なコーラスに癒される時間を過ごしました。

最後に会場全体で「翼をください」を合唱しましたが、そのコーラスの美しかったこと。至福の時間でした。

2月7日 ハーモニーにうっとり

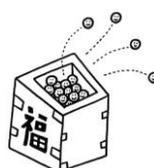


何と大きい、ユズの横綱

テープカッターと比べるとその大きさが判ります。これでジャムや皮を使った砂糖菓子ピールをつくったら、大人の味でおいしいんです。

柑橘類は、ビタミンCがたっぷり。中身はもちろんその皮も砂糖漬けにして楽しめますよ。みかんの皮は乾燥させてお風呂に浮かべるとその香りも楽しめ、また血行が良くなり、お肌もツルツルに。捨てる場所のない冬になくてはならないものです。

今週の
パチリ



「現代いじめの実態と行政の役割」



ユースガーディアン代表理事阿部泰尚氏
によるスライドを使った報告

東京で探偵事務所を経営しながら、無償ボランティアで子供の「いじめ調査」を請け負い、解決に導くために尽力しているNPO法人活動について語られました。

2004年以来、5,000件のいじめなどの相談に乗り、ICレコーダーなど使ったいじめの「証拠」採集などで、実態をつかんで解決につなげるなど、これまでにないやり方が信頼を得ており、このごろは教師からの相談も増えているとのことでした。

いじめが起きる背景には、子供の貧困や学力の格差があり、また競争教育の中で、子どもたちがストレスにさらされており、弱い者いじめに走ることや、SNSを使った陰湿ないじめが横行している実態を知ることができました。又、都会も田舎も文化的には違いがなくなり、同じような問題が多く起こっていることを知ってほしいとも。

講演後、個人的に先生とお話ししました。今の教育現場は正規の教師ではなく臨時教師が増えていること、そのことが原因で学校の教育の状況について、共通理解や教師全員で様々な学校の問題に向き合えていないこと。正規の先生に負担場かかり、教師にゆとりがなくなって、子どもたちと向き合う時間が極端に少なくなっていることは大きな問題だと話しておられました。

また少人数学級など、クラスの人数がへれば、お互いのことをよく知り合うチャンスも増え、また教師も一人ひとりの子どもたちとかかわる時間も増えて、様々な人間関係や家庭の状況に対応することができるんです。とのお話でした。

つまり**行政の役割**は、教師の子どもに向き合う時間を確保できるように、正規の教員をきちっと増やして、全員で学校の問題に向き合えるようにすること。又就学援助や給食費の軽減、学級費の父母負担の軽減など、子どもの貧困をなくすために、経済的支援を強める事など、いくつも課題が見えてきました。

ぜひ、立科町での気になっていることが有りましたら教えてください。と一緒に、のびのびと健やかに、また心優しい子どもたちに育ててほしいと思います。

「沖縄を丸ごと感じてみよう」というイベントに参加しました。



2月11日 佐久教育会館で

沖縄の那覇市出身で今は長野市に住んでいる野池道子さん。沖縄北部の高江で米軍のヘリパッド建設に反対していることを契機に、

「こうしてはられない」と住民の運動にかかわることになったということでした。特に1995年の11歳の少女への米兵3人による暴行事件を契機に「これ以上、人間としての尊厳を踏みにじられることは許さない」と沖縄と長野を結び付ける活動を決意されたとのこと。1000回目目標で今回は31回目。

「黄金ぬ花」「おしえてよ亀次郎」など沖縄のCDを流しながら、その唄の背景などを語り、沖縄の心を熱く語りました。

「宝玉やていん 磨かねばさびす
朝夕肝磨き 浮世わたら」

(どんな宝も磨かねば錆びる。朝夕磨いて、世の中を生きていきましょう) という意味だそうです。日本の憲法は宝。これを守るために不断の努力をしなければ宝もダメになってしまう。頑張りましょうと訴えられました。



寄せ書きを書いてもらい、辺野古などに送ることに。私も一言、連帯のご挨拶を書きました。



敗戦後「軍事要塞化」された沖縄。本土復帰の時も密約で核付、基地付きのままだった。



沖縄関連の書籍・ブックレットも販売された。